

令和3年度埼玉県学力・学習状況調査(小学校5年生)
教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [国語]
 東松山市立市の川小学校

集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	R2小4レベル(平均)	R3小5レベル(平均)	令和2年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	702	47,923	56.7	6-B	6-A	1
市町村教育委員会	11	715	54.1	6-C	6-A	2
市の川小学校	1	84	56.1	6-B	6-A	1

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	13	54.3
	情報の扱い方、我が国の言語文化	4	57.4
	話すこと・聞くこと、書くこと	4	40.8
	読むこと	9	64.9
評価の観点	知識・技能	17	55.0
	思考・判断・表現	13	57.5
	主体的に学習に取り組む態度	-	-
問題形式	選択式	17	53.2
	短答式	12	61.7
	記述式	1	39.3

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

設問別集計結果

設問番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点		問題形式		市の川小学校		困難度レベル
			言葉の特徴や使い方	情報の扱い方、我が国の言語文化	話すこと・聞くこと、書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	
1(1)	漢字を読む(音+音)	文脈に即して漢字を正しく読む	○			○				○	59.5	6.0	7-C
1(2)	漢字を読む(訓)	文脈に即して漢字を正しく読む	○			○				○	83.3	0.0	5-C
1(3)	漢字を書く(訓)	文脈に即して漢字を正しく書く	○			○				○	38.1	19.0	8-A
2	一文の中から主語と述語を書きぬく	文の構成を理解する	○			○				○	47.6	2.4	8-B
3	被修飾語を選択する	修飾・被修飾の関係を理解する	○			○				○	11.9	0.0	8-A
4	漢字の部首名を書き、どんな意味に関係しているか四つの中から選択する	漢字の部首を理解する	○			○				○	73.8	0.0	6-A
5	漢字辞典の「総画さくいん」で調べるときに出てくる順に漢字を並べる	漢字辞典の使い方を理解する	○			○				○	48.8	2.4	6-A
6	漢字の読み方が異なる熟語を選択する	熟語の中の漢字を正しく読む	○			○				○	34.5	3.6	8-B
7	指示語の示す内容を文中から書き抜く	指示語の役割を理解する	○			○				○	56.0	2.4	7-C
8	適切な接続語を選択する	接続語の働きを理解する	○			○				○	85.7	0.0	4-C
9	類義語を選択する	熟語の意味、類義語を理解する	○			○				○	7.1	2.4	8-A
10	いろいろな意味を持つ漢字の中で同じ意味で使われている言葉が四つの中から選択する	多義語について異なる意味を理解する	○			○				○	70.2	0.0	6-B
11	同音異義語の中から文脈に合うものを選択する	同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う	○			○				○	59.5	0.0	7-C
12(1)	文中の空欄にあてはまる適切なことわざの一部を選択する	ことわざの意味を理解し、適切に使う	○			○				○	67.9	0.0	6-C
12(2)	文中の空欄にあてはまる適切な慣用句の一部を選択する	慣用句の意味を理解し、適切に使う	○			○				○	39.3	1.2	8-A
12(3)	文中の空欄につながる適切な言葉を選択する	呼応の副詞を理解し、適切に使う	○			○				○	97.6	0.0	2-C
13	熟語の漢字の組み合わせの説明として適切なものを選択する	熟語の構成を理解する	○			○				○	54.8	0.0	7-B
14	主語と述語の関係を理解し、適切な文の形に直して書く	文の構成を理解し、適切な形に書き換える		○		○				○	52.4	1.2	7-B
15(1)	登場人物の発言の根拠となる言葉を書き抜く	登場人物の行動の理由を理解する			○	○				○	64.3	1.2	7-A
15(2)	登場人物が感じたことの対象を選択する	登場人物の心情とその対象を理解する			○	○				○	86.9	0.0	5-C
15(3)	登場人物の考えの理由として適当でないものを選択する	内容を理解し、登場人物の考えとその理由を理解する			○	○				○	67.9	4.8	6-A
15(4)	登場人物の発言をまとめた一文に当てはまる言葉を書き抜く	登場人物の状況を把握し、行動の理由を理解する			○	○				○	59.5	9.5	7-B
16(1)	話題の中心となる言葉について説明した部分を書き抜く	文章を読み、話題の中心を理解する			○	○				○	83.3	9.5	5-A
16(2)	文中に書かれている具体的な事実をまとめた表にあてはまる言葉を考えて書く	要点を整理し、表にまとめる			○	○				○	73.8	7.1	6-A
16(3)	本文の内容をふまえて、指示語が何を指しているかを選択する	文章の内容を理解する			○	○				○	44.0	8.3	8-C
16(4)	キーワードとなる語に関する説明として適切なものを選択する	文章の内容を理解する			○	○				○	53.6	11.9	7-A
16(5)	筆者の考えとして適切なものを選択する	筆者の意見を理解する			○	○				○	51.2	14.3	7-B
17(1)	インタビューの様子を読み、空欄に入る質問を選択する	インタビューの流れから質問の内容を読み取る			○	○				○	54.8	17.9	7-B
17(2)	インタビューのメモの取り方の説明として適切なものを選択する	話を聞く時のメモの取り方を工夫する			○	○				○	16.7	17.9	8-A
17(3)	目的に合った遊びを選び、選んだ理由を二段落構成で書く	目的に応じて理由を挙げながら自分の考えを書く			○	○				○	39.3	26.2	8-A

令和3年度埼玉県学力・学習状況調査(小学校5年生)
教科に関する調査 問題ごとの正答率一覧表 [算数]
 東松山市立市の川小学校

集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	R2小4レベル(平均)	R3小5レベル(平均)	令和2年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	702	47,919	61.6	5-B	6-B	3
市町村教育委員会	111	715	60.7	5-C	6-C	3
市の川小学校	1	84	60.5	5-B	6-C	2

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率 市の川小学校
教科の領域等	数と計算	13	64.5
	図形	6	59.7
	変化と関係	7	58.7
	データの活用	6	54.8
評価の観点	知識・技能	23	62.4
	思考・判断・表現	9	55.4
	主体的に学習に取り組む態度	-	-
問題形式	選択式	14	62.0
	短答式	17	62.1
	記述式	1	10.7

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

設問別集計結果

設問番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等			評価の観点			問題形式		市の川小学校		困難度レベル
			数と計算	図形	変化と関係	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	
1(1)	3位数と2位数のわり算を計算する	3位数と2位数の除法ができる	○			○			○		84.5	3.6	4-C
1(2)	仮分数のひき算を計算する	仮分数の意味について理解し、計算することができる	○			○			○		92.9	1.2	2-A
1(3)	整数のたし算、ひき算、かけ算、わり算が混在した式を計算する	四則混合の計算ができる	○			○			○		66.7	0.0	5-A
1(4)	小数のかけ算を使って文章題を解く	小数の乗法を用いて、実際に求めることができる	○			○			○		72.6	1.2	4-A
1(5)	余りのあるわり算を計算する	余りのある除法を計算できる	○			○			○		28.6	4.8	8-A
1(6)	商が小数になるわり算を計算する	割り切れない除法を計算できる	○			○			○		28.6	2.4	8-A
2(1)	ある整数より大きい分数をすべて選ぶ	分数の大きさについて理解している	○			○			○		75.0	2.4	5-B
2(2)	文章を読み、その関係をもとに、1枚あたりの値段を求める	整数の計算を具体的な事象について用いることができる	○			○			○		45.2	4.8	7-C
2(3)	わり算の計算をするときの工夫の仕方を考える	除法の性質について理解している	○			○			○		65.5	6.0	6-A
2(4)	複数の式で表される場面を1つの式に表す	問題の場面を()を用いて1つの式に表す仕方を考えようとする	○			○			○		63.1	3.6	6-B
2(5)	じゃんけんの状況を、記号を用いた式で表す	数量を記号とした式を表すことができる	○			○			○		60.7	3.6	6-A
3(1)	1億より大きい数を数字で表したものを選ぶ	億の単位について理解している	○			○			○		90.5	1.2	3-B
3(2)	足りるかどうか見積もるときの考え方を考える	具体的な場面で、概数を用い、目的に適した見積もりの方法を考えることができる	○			○			○		64.3	1.2	6-A
4(1)	分度器を工夫して用いて、180度を超える角の大きさを求める	量の加法性に着目し、180度より大きい角を分度器を用いて測ることができる	○			○			○		42.9	0.0	7-B
4(2)	2枚の正方形の重なり合った部分の面積を求める	正方形の面積の求め方について理解している	○			○			○		66.7	4.8	6-B
4(3)	1m ² と100cm ² の正方形を比較する	面積について理解している	○			○			○		34.5	6.0	8-C
5(1)	説明に当てはまる四角形を選ぶ	ひし形について理解している	○			○			○		39.3	1.2	7-A
5(2)	展開図を組み立てたときに、指定された面と平行になる面を選ぶ	展開図が立体になったときの面の位置関係をとらえることができる	○			○			○		94.0	0.0	3-C
5(3)	空間にある点の位置を表し方で直方体の頂点の位置を書く	ものの位置を表し方について理解している	○			○			○		79.8	2.4	5-A
6(1)	基準量と比較量から、割合を求める	割合について理解している		○	○				○		79.8	1.2	4-A
6(2)	割合から、テープの長さを答える	割合をもとに比較することができる		○	○				○		58.3	6.0	6-A
6(3)	数量の関係をとらえ、基準量を求める	基準量の求め方が分かる		○	○				○		73.8	1.2	5-B
7(1)	まわりの長さが一定である長方形のたてと横の長さを表した表からわかることを選ぶ	二つの数量の関係について理解している		○	○				○		77.4	3.6	5-B
7(2)	比例関係にある数から、ある時点の水の量を答える	比例について理解している		○	○				○		77.4	4.8	4-A
7(3)	台形を並べたときの数と周長を△と□の式で表す	式を用いて変化の関係をとらえることができる		○	○				○		33.3	9.5	7-A
8(1)	表からあてはまる数を求める	資料を分類整理し、特徴や傾向をとらえることができる			○				○		34.5	13.1	8-C
8(2)	2つの視点でまとめた表を読み取る	二次元表の読み取り方を理解している			○				○		63.1	11.9	5-A
8(3)	あるデータを折れ線グラフに表したものととして、正しいものを選ぶ	折れ線グラフのかき方について理解している			○				○		70.2	14.3	5-A
9(1)	測定するデータを選ぶ	目的に応じたデータを収集できる			○				○		69.0	13.1	6-B
9(2)	主張に適合するグラフを選ぶ	データから特徴を読み取ることができる			○				○		16.7	14.3	8-A
9(3)	2つの折れ線グラフを対比して読む	2つの折れ線グラフを対比させ、グラフの特徴や傾向について考察することができる			○				○		75.0	14.3	5-A
10	2人が本を読み進めたとき、先に読み終わる方を選び、その理由を説明する	具体的な事象を持って変わる2つの量に関連付け、根拠を明確に記述できる			○				○		10.7	15.5	8-A